



↑この写真は、田町にある駄菓子屋さんです。

ここは、最近できた店で、子供たちが、この田町で、「楽しく過ごしてほしい」という願いが、あります。



↑この写真は、田町の「きくや」というおもちゃ屋で、子供がこの店で遊んで迷惑をかけているけど、おみせの人は、いつもやさしく話しかけてくれます。



↑この写真は、「柏木薬局」という薬局で、塗り薬を作っているところです。

薬を作るのに、何時間も、「へら」という道具で病気の人のことを考えて、一生懸命作っています。

田町グループの思い

田町は、昔より店が少なくなってきて、あまり人が来なくなったけど、今はショッピングセンターとかが出来てから、あまり田町で買い物をする人が少なくなって来たので、ぼくたちが田町をどんどん取材をして、田町の人を元気づけました。

ぼくは今まで、取材して感謝したいところがあります。それは、「きくや」というおもちゃ屋です。それは、きくやには、ぼくの友達がいいます。ときどき遊びにいくとたくさんの友達が、集まっていて、仕事をしているのに、あたたかくぼくたちを「いいよ」とむかえてくれるので、いつも、感謝の気持ちでいっぱいです。田町の人たちのやさしさを感じました。

中野

最初、僕はあまり田町商店街のことを知りませんでした。ですが、取材することで田町は、ショッピングセンターなど便利な建物ができて田町に人がこなくなっています。でも、田町はカウンターで袋をもらって自分で包むのではなく、あたたかく包んでもらうという長所があります。だから、その長所を知ってもらいたいです。田町商店街は、今失いかけているところです。ぼくたち田町グループが田町を復活させていきたいと思ひます。

末舛

戻る

ぼくは、この活動で何度も取材に応じてくださった、岩崎酒造の方の、あたたかさを感じる事ができ、またぼく達の取材の一生懸命さが伝わったのか、自分の仕事に対する本音を語ってくださってくれたことに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

田町の取材で、人とのふれあいを学ぶことができて本当によかったと思ひます。

竹重

見て下さって
ありがとう
ございました。

田町グループより